

(様式)

平成28年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・よく歌い、進んで合奏活動に取り組む児童が多く、活動は活発である。
- ・授業や音楽朝会の中に身体表現を多く取り入れたことで音楽を楽しむ児童が増え、必要なリズム感が身に付いてきている。
- ・ペア学習やグループ学習を増やし、学び合う場を設けたことで、一人ひとりの技術が高まってきている。また、友達と音色を合わせようとする様子が見られる。

(2) 課題

- ・6年間を通して段階的、系統的に学習することができるように題材を構成し、音楽の学力定着を図っていく必要がある。
- ・自分の思いや意図をもって音楽的な表現をすることに課題がある。発問やワークシートを工夫することで表現力の向上を目指す。
- ・一人ひとりの更なる技術向上を図り、音楽的な表現に繋げていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成28年度結果	平成27年度結果	平成26年度結果
第4学年			
第5学年		(第4学年時)	
第6学年		(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

関心・意欲・態度	感受・工夫	技能	鑑賞の能力
歌唱や器楽など、様々な活動に関心をもち、進んで取り組む児童が多い。 分からないことをそのままにしてしまう傾向がある。	曲想から音楽のよさや美しさを感じ取り、活動をしている様子が見られる。 <u>また、感じたことを言葉で表すことが得意である。</u> <u>強弱などの音楽の要素を生かした表現の工夫をする力を、</u>	<u>音楽を聴いたり楽譜を見たりして活動に取り組んでいる。</u> <u>歌唱においては、自然で無理のない声で歌っているので、響きを出していく。</u> <u>器楽においては、読譜に親しんで演奏しているので、音色</u>	鑑賞の機会を増やし、楽しんで音楽を聴いている様子が見られる。 楽曲の仕組みに気付かせる丁寧な指導を繰り返し行うことで、強弱や旋律の変化による曲想の違いに気付いて聴く児童

	高めていく必要がある。	に気を付けさせる。	が増えてきた。
--	-------------	-----------	---------

② 高学年

関心・意欲・態度	感受・工夫	技能	鑑賞の能力
<p>歌唱や器楽など、様々な活動に関心をもち、進んで取り組む児童が多くいる。</p> <p>分からないことは積極的に先生や友達に聴き、解決しようとしている様子が見られる。</p>	<p>曲想から音楽のよさや美しさを感じ取り、言葉で表すことができる。</p> <p>自由な発想を生かした工夫を、友達と共有して一つの音楽にまとめる力を伸ばしていく必要がある。</p>	<p>音楽を聴いたり楽譜を見たりして活動に取り組んでいる。</p> <p>歌唱においては、発声指導により豊かな響きが出てきているので、音色の統一を目指す。</p> <p>器楽においては、様々な楽器に幅広く親しみ奏法を身に付けているので、今後は音色を生かした表現力を高めていく。</p>	<p>鑑賞の機会を増やし、楽しんで音楽を聴いている様子が見られる。</p> <p>ワークシートの活用により、強弱や旋律の変化による曲想の違いに気付いて聴く児童が増えてきた。</p> <p>書いた内容を発表して友達と共有することに自信がもてない児童が多くいる。</p>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

関心・意欲・態度	感受・工夫	技能	鑑賞の能力
<p>集団で音楽活動を楽しむために数多く場の設定をする。感じたことを率直に発言できる雰囲気をつくる。</p> <p>ペアやグループでの身体表現を充実させ、友達と一緒に歌ったりリズムを叩いたりすることを楽しむようにする。</p>	<p>楽曲のイメージを膨らませて演奏するために、感じたことを、色や身近なもので表わせる。</p> <p>ペア学習での、簡単な言葉遊びやリズム遊びを積極的に取り入れて、工夫を出し合って表現するようになる。</p>	<p>ペア学習やグループ学習を取り入れ、教え合いにより個々の能力の向上に繋げていく。</p> <p>歌声を聴き合う活動を多く行い、自分の歌声に気を付けながらきれいな歌声で歌えるようにする。</p> <p>簡単なリズム譜に親しませていく。</p>	<p>鑑賞の聴くポイントを一曲の中で1つとし、確実に気付けるようにする。</p> <p>教科書の挿絵や図形楽譜などを用いて、視覚的に音楽の特徴をとらえるようにする。</p>

(2) 中学年

関心・意欲・態度	感受・工夫	技能	鑑賞の能力
<p>個にあった指導を心がけ、分からないことを解決することにより楽しい音楽表現ができるという認識</p>	<p>強弱などの音楽の要素を楽曲の中で繰り返し学習させる。</p> <p>中学年でもすぐに書ける簡単なワーク</p>	<p>歌唱では発声に即した曲を用い、発声練習の方法を工夫することで響きのある声を作っていく。簡</p>	<p>聴くめあてを分かりやすく示し、楽曲の特徴が生み出すよさや美しさを友達と共有しやすくする。</p>

<p><u>識を深めさせる。</u> 器楽では、色々な楽器を体験させて関心を高める。</p>	<p>シートを工夫し、自分の工夫を友達と共有できるようにする。</p>	<p>単な二部合唱、パートナーソングを取り入れて高学年の合唱活動に繋げる。 器楽では楽器の適切な扱い方、演奏の仕方など基礎を繰り返し指導し、豊かな音色に気付かせる。</p>	<p>幅広い音楽を聴いたり見たりして、楽器の演奏のまねや身体表現をして親しむ。</p>
--	-------------------------------------	--	---

(3) 高学年

関心・意欲・態度	感受・工夫	技能	鑑賞の能力
<p>高学年としての自覚、責任、誇りのもと学級全体で協力し、音楽への積極的な活動をさせる。 自分の声や演奏に自信を付けさせるため、主な旋律を全員で演奏する場面や、互いの声部を聴き合う活動などを取り入れていく。</p>	<p><u>強弱などの音楽の要素を楽曲の中で繰り返し学習させる。</u> <u>多様な演奏形態を経験することで、自分の表現したいことの思いやイメージなど自由な発想を演奏に生かせるようにする。</u> ワークシートを工夫し、年間で活用する。</p>	<p>歌唱では響きを作る発声指導や斉唱を繰り返し行う。<u>互いの声を聴き合って声を合わせる活動を丁寧に行う。</u> 器楽では多くの楽器と触れ合えるよう配慮し、適切な扱い方、演奏の仕方など基礎を繰り返し指導し、美しく響き合う音を探りながら演奏するようにする。</p>	<p>楽曲の譜例を見せることで、音楽の要素を理解して聴くようにする。 <u>ペア学習やグループ学習を充実させ、自分の感じたことを発表しやすい場をつくる。</u>友達の感想を基に自分の考えを発表できるようにする。</p>